

言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）は、私たちが各々の信仰の度合いによって されること、そしてそれらの から来る最低限の善きこととして、罪から清められることを げています。人は宗教的な献身の度合いに じた を受け、それらの はその神のしもべが全く罪の 担のなくなった状 になるまで くのだと彼は言っているのです

病 や怪我によって打ちのめされてしまったとき、不安を感じるのは自然なことです。に私たちは、なぜ神がこのようなことを起こすのかと 慨すらすることでしょう。私たちは いかげ、不平をこぼしますが、そういったことは、 には自らの悲 や苦 を させる以外の役割を果たしません。神は、その 限なる英知と慈悲により、病 や怪我になったときはいかに振舞うべきかという明白な指 を私たちに授けてくれました。その指 に うのであれば、苦 に してそれを冷静に受け止め、感 すら出来るようになります。病 や怪我になったとき、信仰者は神に信 を寄せ、神によって授けられた状 を何であれ感 し、医 扶助を求めます。

医 扶助はイスラ ムにおいて されたものであり、それを求めることは私たちによる神への信 を否定 とするものではありません。言者ムハンマドの言 はそのことを明 にしています。「あらゆる病 は、それに する治 なくしては定められなかったのである。2」信仰者は医 を れ、病 や怪我の治 を求めることができます。また、心因性 感情的な疾患の 断や治 を求めることもできます。しかし、それは例えばアルコ ルのような禁じられたものから治 を求めないという条件付きのものです。神は して、禁じられたものの中に治 の 果を宿らせることなどありませんでした。

占い 、易者、またはその手のいかなる 欺 からも治 を求めることは されていません。そうした者たちは人々を し、唯一なる真 の神から彼らを ざけ、自らに不可 の知 がわっていると主 します。また神は、お守りや魔除けを使って病 や怪我から守られようと みることも禁じられています。あらゆる御力は神のみに属するのであり、治 や安全を神以外の何かに ることは、 めて重大な罪となります。

世において治 や回 を求めると同 に、精神 法を通して治 を求めることも重要です。まず、神について前向きな良い考えを持ち、神に する信仰を させ、神の御名と性 について熟考すべきです。神こそは慈悲あまねく慈 深き御方で、全知なる者なのです。私たち

不幸や苦痛、 は、私たち自身の行 から来る 合も多々あります。私たちは罪を犯すことを びますが、神は私たちの健康や富、 する人々の 失によって私たちを 化されるのです。世で今、苦 を受けることは、それを永久に受け けるのではないことを意味することもあり、またすべての痛みや苦 は、天国においてより高い地位を得ることを意味することもあるのです。

神は、なぜ 人に善いことが起きたり、善人に いことが起きるのかという英知をご存知です。一般的に、私たちが神に立ち返ることは、その理由が何であれ善いことです。危 的状 において人は神を求めますが、隆盛においてはそれがどこから来ているのかについて忘れてしまいます。神こそが供 者であり、最も 大な御方なのです。神は私たちが永 の命という を受けることをお望みになり、もしも苦痛や が天国を保 するのであれば、病 や怪我は祝福に他ならないのです。言者ムハンマドはこう述べています。

「もしも神が かに善きことをお望みになれば、その人物を にかけて ませるのである。

」 [5](#)

病 にかかったときの最善の行 とは、神に感 し、神のご 悦を得ようと努力し、医 扶助を求め、神が私たちに授けてくださった祝福の数々を思い起こすことなのです。

Footnotes:

[1](#) イブン マ ジャ

[2](#) ブハ リ

[3](#) クルア ンの治 力についての 明は、「イスラ ムにおける健康」第2部をご参照ください。

[4](#) サヒ フ ブハ リ 、サヒ フ ムスリム、マ リク、ティルミズィ 、アブ ダ ウド

[5](#) サヒ フ ブハ リ

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2257>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。